

## 大阪府立泉鳥取高校統合に関する意見書

令和4年3月24日開催の大阪府議会定例会において、「府立学校条例改正案」が可決され、本市にある泉鳥取高校が令和6年度末をもって閉校となることが正式に決まりました。

阪南市議会といたしましては、これまで泉鳥取高校が果たしてきた教育活動や地域貢献活動、また、住民への施設開放を通じ、地域の活性化や地域福祉の向上に寄与をいただいていた実績、さらにJR和泉鳥取駅周辺の賑わいを考えますと、この決定は非常に残念な結果でした。

この春に入学した生徒たちは、3年後、泉鳥取高校最後の卒業生となります。生徒のみなさんの3年間で、充実した3年間であるようお願いしています。

同校がこれまで果たされてきた実績は、まちづくりという観点においても大きな役割を担ってきたところであり、同校を失う影響は計り知れません。その影響を少しでも抑え、また、地域の社会資源としての機能をさらに高めるためにも、同校の今後の有効活用は、大きな課題となります。

つきましては、今後の同校跡の利用にあたり、大阪府教育委員会もしくは大阪府として、本市ならびに近隣市町の成長・発展に資する施設への転用を強く求めるところです。その際、本市と十分に協議を行っていただきますよう、併せて要望いたします。

また、同校の機能統合の理由として、「泉鳥取高校に通っている生徒の出身地域に在籍する中学生の修学機会が確保できること」があげられております。よって経済的あるいは身体的精神的な理由によって遠距離通学が難しい本市の中学生の進学先として、一番近い公立高校となるりんくう翔南高校への入学に、配慮をいただきますよう、要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和4年6月23日

